

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -8

5-
-8

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	児童・生徒への取組
	節	. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	8 ジオパーク出前授業		事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市学校教育課
事業概要	【事業目的】	島内の児童・生徒に佐渡金銀山を含む「ジオパーク」の正しい知識を分かりやすく紹介し、地元への関心を高め、郷土愛の醸成を図る。		
	【事業内容】	島内小・中・高校生を対象に、佐渡金銀山を含む市内ジオサイトの巡検や授業を継続的に開催する。		
⑨事業計画と実績	【29年度計画】	各小中学・高校からの依頼に基づき、ジオパーク推進指導員が学校に出向いて授業(説明)を行う。 (概ね20回程度。同一校での複数回実施も可)		
	【29年度実績】	出前授業実施回数 島内小・中・高校 11校、延べ28回の事業の中で、ジオパークの正しい知識をわかりやすく紹介した。(なお、佐渡金銀山に関する講義も随時実施した。)		
課題・今後の取組	【課題】	本事業の取組みが未だ全島的なものとはなっておらず、実施校の拡充が必要である。一方で、単発的な授業で終わるのではなく、ジオパーク活動の浸透を図るためにも、同一校での複数回実施についても積極的に取組むことが必要である。		
	【今後の取組】	次年度以降はこれまでの学校からの依頼を待っている状況から一歩前進し、各学校にメール等での依頼や教育研究会への打診等を行っていく。		
事業評価	【事業の達成度】 (a · b · c)	各学校からの依頼は多く、当初の見込みを超える対応となった。また、同一校からの複数回の依頼も見られた。一方で全島的な拡がりはまだまだであり、今後拡充を進めていく。		
	【事業実施の効果】 (a · b · c)			
	【総合評価】 (A · B · C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。